

～交通死亡事故ゼロに向けて、連携強化～

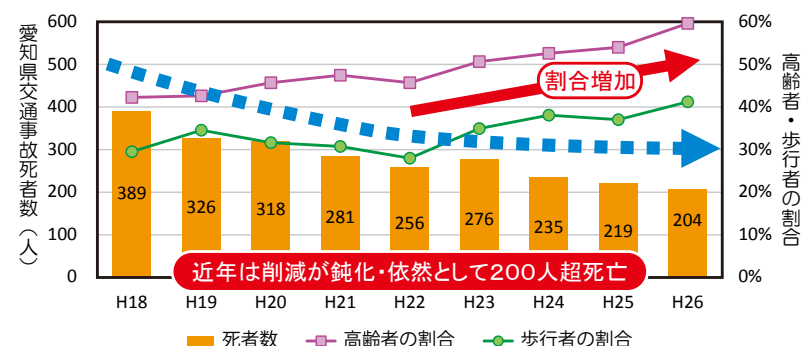
ストップ・ザ 交通事故 高めようモラル 守ろうルール

「面としての交通安全対策を検討していきます」

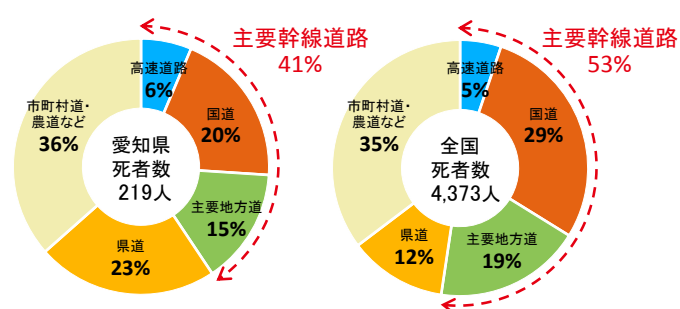
■事故対策等により死者数は減少、しかし近年は鈍化

愛知県の交通事故による死者数は、この10年間で半減しましたが、近年は減少が鈍化傾向にあります。特に歩行者、高齢者の死亡事故が増加しています。

愛知県の交通事故死者数の推移



道路種類別の死者数の構成比[平成25年]

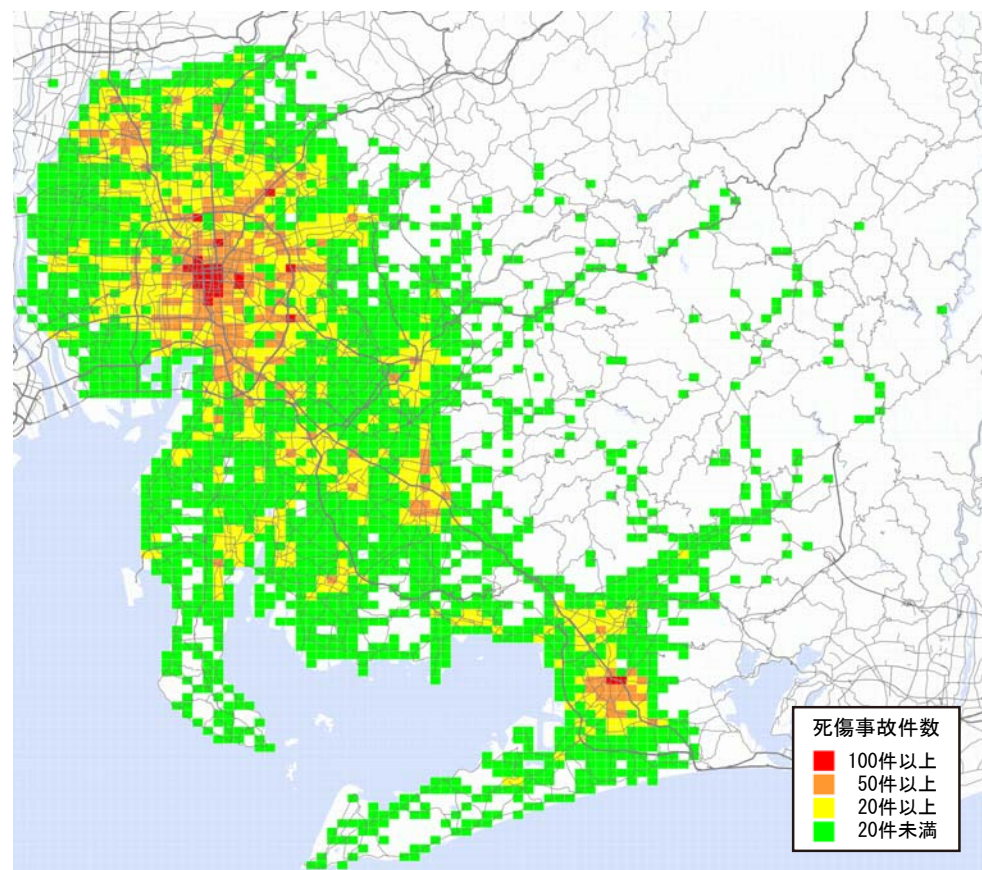


出典(財)交通事故総合分析センター

■あらゆる道路で死亡事故は発生

主要幹線道路を始めとした事故危険箇所への局所対策(点対策)のみでは、死亡事故を大幅に削減することは難しくなっています。今後は、死亡事故等につながる危険性の高い地域での包括的な対策(新たな面対策)も必要となっています。

愛知県の交通事故発生状況[平成25年]



出典:愛知県警察資料

■面的安全対策の検討

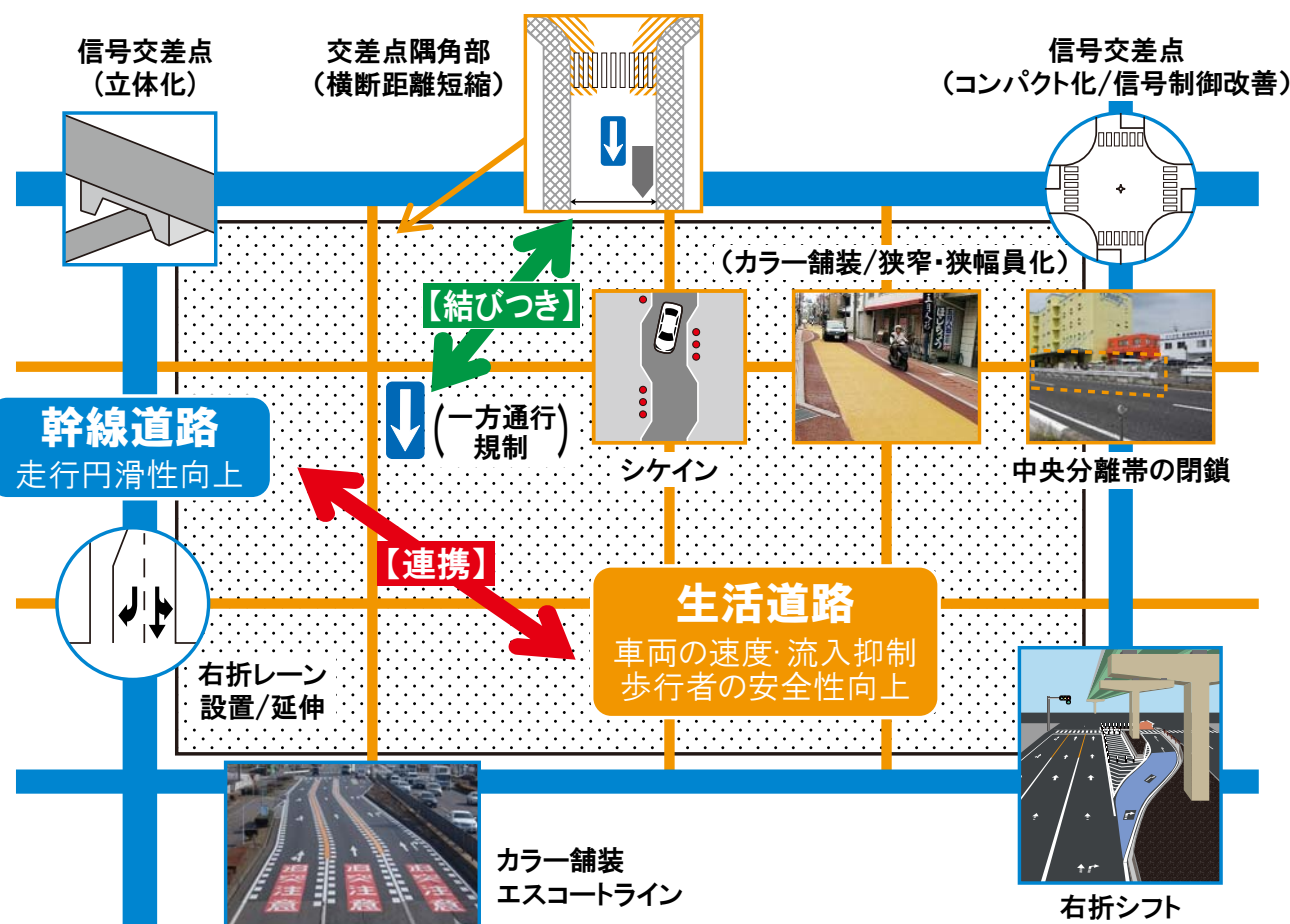
幹線道路と生活道路をより明確に区別し、点対策だけでなく、面としての安全対策を検討していきます。検討においては、交差点構造変更などのハード対策に加え、利用者行動に直接影響を与える信号秒数変更などのソフト対策にも柔軟に取り組んでいきます。

■専門家の声

愛知県は交通事故死者数が全国最多であり、安全性の向上は切実な課題です。このような状況下、関係機関が協力・連携して柔軟かつ包括的な安全対策に取り組むことで、安全性・円滑性・快適性が相乗的に高まることを見込まれます。新たな視点で、利用者にとって受け入れやすく実効性の高い対策・政策を打ち出していくことに期待しています。

名古屋工業大学 都市社会工学科 鈴木弘司准教授

■面的対策のイメージ



■対策事例：交差点のコンパクト化

